

## 2018年 日本風力発電協会・賀詞交歓会 挨拶

2018年1月17日  
代表理事 高本 学

あらためまして、皆様、新年明けましておめでとうございます。代表理事を務めております高本でございます。日頃より、協会会員の皆様におかれては、当協会の活動にご理解を賜り、日々の活動を通じまして、風力発電の導入拡大のためにご尽力を頂き、大変ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

また、本日は多くのご来賓の皆様にご来臨を賜りました。平素より風力発電業界の発展に関して、深いご理解とご指導・ご支援を頂戴しており、衷心より御礼を申し上げます。

さて、日本風力発電協会の会員数はこの1年で23社増加し、本日現在で332社・団体に達し、非常に大きな団体となりました。これも偏に風力発電に対する関連業界全体の強い期待の表れであると改めて感じている次第です。

しかし、2012年7月にFIT制度が導入されて以来、風力発電の導入は進み始めてはいるものの、未だ持続可能な大量導入に向けたブレークスルーを起こすには至っておりません。因みに、昨年1月から12月まで1年間の新規導入量(速報値)は16.9万kW(一昨年の88.2%)であり、累計導入量は340万kWとなっています。また設置基数は2,225基(この1年間で77基増加)、発電所数は434ヶ所(同じく12ヶ所増加)となっています。

我が国の風力発電を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いてはいるものの、状況は確実にかつ早いスピードで変化を続けています。昨年12月、NHKの特集番組でも紹介された通り、再生可能エネルギーに向かう世界の潮流は最早明らかです。

ここで日本の実情を顧みますと、風力発電は厳格で長い時間と多額の費用を伴う環境アセスメントが導入拡大の足かせとなっていました。関係省庁のご尽力により期間短縮の成果が徐々に現れ始めております。昨年12月末の時点で、環境アセスメント手続の配慮書以降の段階にある案件は総数で196件、合計容量は1,600万kWに達するところとなり、この内450万kW強は、近時注目を集めている洋上風力が占めています。即ち、一層の導入拡大への準備は整いつつある状況となり、念願の洋上風力元年も間近に感じるところとなりました。これも偏に会員各社の頑張りのご努力の賜物であると、心より感謝申し上げます。

しかしながら、現在開発中の案件の多くは、比較的風況が良好で高い稼働率が期待できる北海道と東北地方に集中していることもあり、系統接続の制約が大きな課題となっています。経済産業省におかれましても、昨年12月には「再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会」を新たに立ち上げ、系統接続・運用の制約を含めた再生可能エネルギーの大量導入を持続的なものとするための政策課題に関する議論が開始されました。

またFIT買取価格も昨年には複数年にわたる価格が設定され、現在も調達価格等算定委員会で2020年度の価格に関する検討が進められています。当協会としては昨年12月の委員会

で、現状価格維持のお願いをいたしたところですが、結論は今後委員会の場において議論され決定されることとなります。

一方で、風力発電を始めとする日本の再生可能エネルギーは競争力のある主力電源となり自立することが求められています。一昨年 2 月に当協会が発表したウィンドビジョンでも、導入拡大が確実に進み、これに長大翼を備えた高効率風車の開発・投入など技術革新や O&M 費用の削減を組み合わせることが出来れば、2030 年におけるグリッドパリティの達成は可能としています。海外における風力発電は、大規模導入を前提とする市場の創出とコストの低減が相乗効果を発揮することで大量導入そのものが実現し、同時にグリッドパリティに迫る競争力を獲得してきました。

先ほどご紹介した通り、日本においても既に環境アセスメントの手続きに入っているプロジェクトの容量は 1,600 万 kW を上回っており、累積導入量 2,000 万 kW も視野に入ってきています。我々風力発電業界は、これを大量導入実現の推進力として「競争力のある自立した風力発電」を目指して、建設費低減、稼働率・設備利用率の向上、O&M 費用削減などに、改めて挑戦していきたいとの思いを強くしています。

繰り返しとなりますが、日本の風力発電を取り巻く事業環境は大変厳しいものがあります。また我々が目指す「競争力のある自立した風力発電」への道のりも平坦ではなく、まさに大きなチャレンジであると認識しています。しかしながら、会員各社が持つ世界最高レベルにある日本の技術力と変革への強い意思をもって、会員全員が汗をかき、自立への道を切り拓いていこうではありませんか。自立の先には、新しく姿を変えた風力発電産業があり、風力発電が立地する地元・地域への更なる貢献も可能となり、様々な面で、新たな社会を創り出すことができるものと確信しています。

なお、皆さま既にご承知のことと思いますが、本年も 2 月 28 日から 3 月 2 日にかけてまして東京ビッグサイトで風力発電展が開催されます。今年は、最大規模で開催されまた特に洋上風力に関する出展が増加しております。欧州などの先進事例を学ぶ事もさることながら、市場投資動向の把握や商談のチャンスでもあります。是非、多くの皆さまのご来場をお願い致します。

新年にあたり沢山の思いをお伝えしましたが、風力発電業界の一層の発展に向けて、皆様と一丸となって業界発展に努力していきたいと思っております。最後になりましたが、ご臨席の皆様、並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。